

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年11月14日

新電元工業株式会社
証券コード：6844



JMS2025新電元工業ブース
ロボット「シンディ」



Contents

01

2026年3月期第2四半期業績
2026年3月期通期業績見通し

取締役 財務統括
受川 修

02

ターゲット市場の開拓
ー成長続くインドでの取組みー

取締役 経営企画室長
羽鳥 敏

新

電元の

たな技術を結集



出展したロボ「シンディ」

2021年6月：新事業検討のための専門部門を設立。

当社のパワーエレクトロニクス技術を結集して開発した技術をロボットに実装。

シンディへ搭載した技術

01 力制御技術

力覚センサレスで力制御する技術。

特許出願中

02 画像識別技術

低処理負荷の画像識別技術。

特許出願中

03 軽量ロボットアーム

関節部のモータを本体に集約しアームのスリム化を実現。

特許出願中

04 非接触充電技術

車載向けに開発してきた非接触充電技術をロボットに搭載。

JMS2025での反響を踏まえ、
今後の展開を見定め中

2026年3月期第2四半期業績

2026年3月期第2四半期業績

単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	50,563	54,247	+ 7.3%
営業利益	366	2,318	532.3%
営業利益率	0.7%	4.3%	+ 3.6pt.
経常利益	▲ 298	2,465	—
純利益	▲ 1,089	2,430	—
単位：JPY/USD			
単体取引高レート	154.87	146.17	△ 8.70円

● 3セグメントとも堅調に推移し、前年同期比で増収に。

● パワーデバイス事業は、昨年度実施した構造改革効果等により利益改善。

● 遊休資産の整理を行ったことで特別利益約3.5億円を計上。

※当年度より報告セグメントの区分を変更しています。本資料上、前期数値についてもセグメント区分を組み替えた数値で表記、比較しています。

2026年3月期第2四半期業績（パワーデバイス）

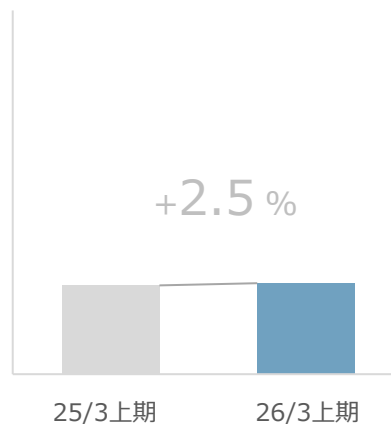
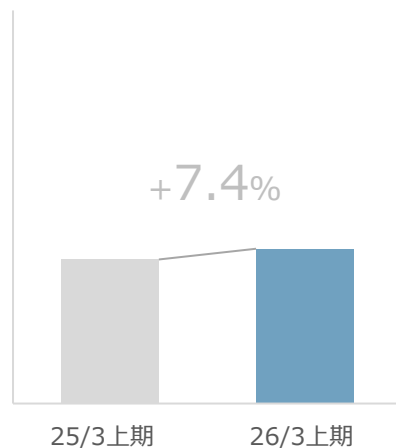
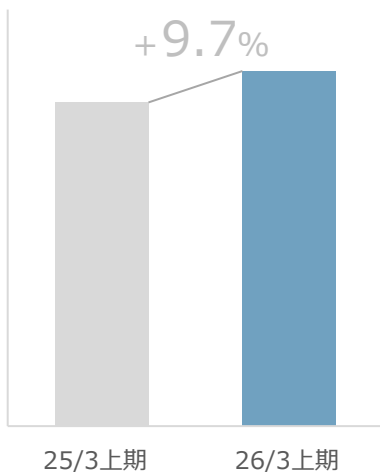
単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	15,431	16,436	+6.5%
営業利益	▲152	1,571	—

車載

家電

産機



- 産機向けは依然回復の兆しが見えない一方、車載、家電向けが堅調に推移したことで増収に。
- 昨年度実施した事業構造改革効果や増収効果などにより、利益は大きく改善。

2026年3月期第2四半期業績（パワーユニット）

単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	32,690	34,645	+ 6.0%
営業利益	2,442	1,964	▲ 19.6%

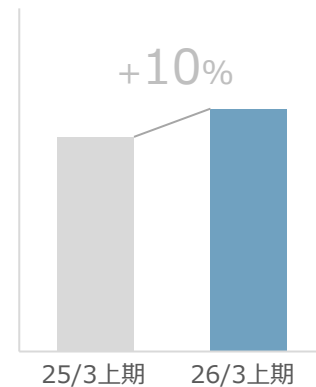
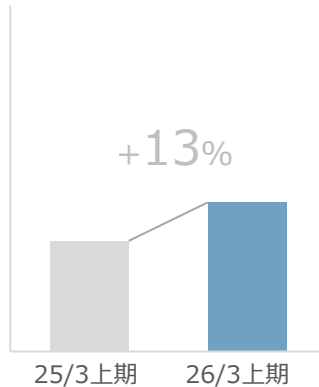
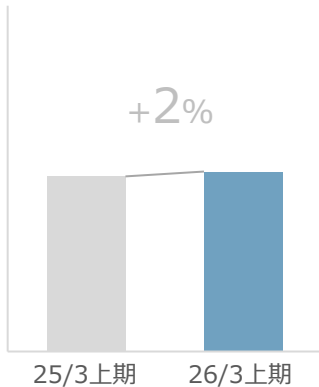
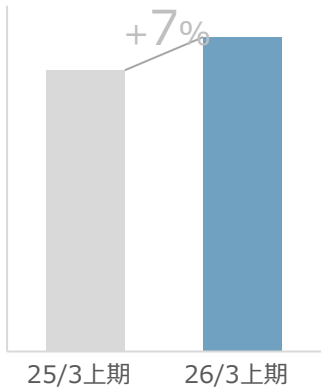
現地グループ会社の二輪車向け売上高（現地通貨ベース）

インドネシア

ベトナム

タイ

インド



- アジア通貨安の影響があったものの、インドやインドネシアなど二輪の主要各市場が堅調に推移したことで増収を確保。
- 今年度より電動化関連製品の開発リソースを増強しているため、昨年度からは減益に。将来の成長に向けた下地作りを進める。

2026年3月期第2四半期業績（パワーシステム）

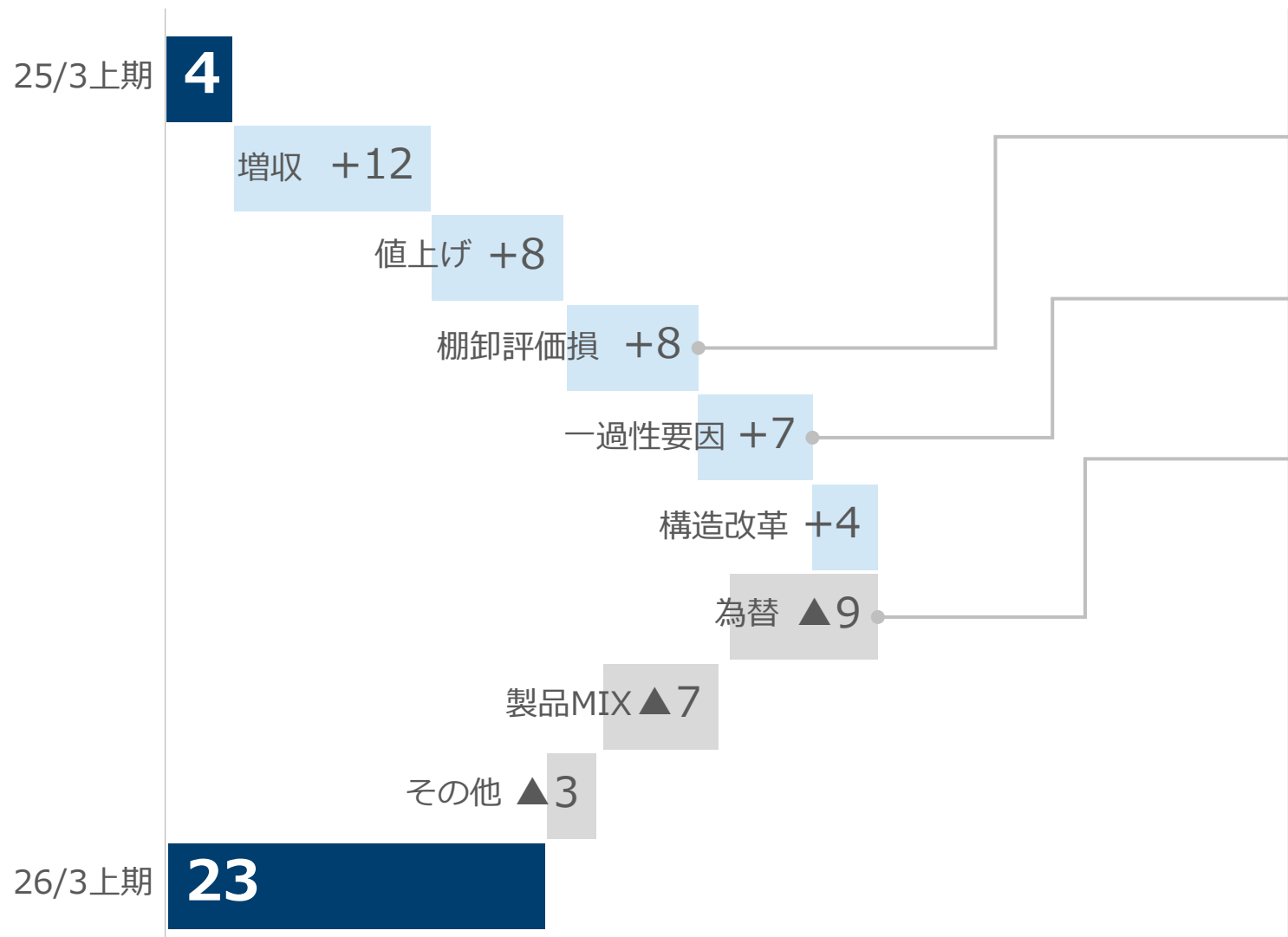
単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	2,363	3,093	+ 30.8%
営業利益	392	587	+49.8%

- 通信インフラ向け整流装置が顧客の設備投資が増加したことで増収増益に。

2026年3月期第2四半期営業利益の増減

単位：億円（億円以下四捨五入）



- 前年度に計上していた評価損の影響が改善したことで浮上。
- PDにおいて顧客からの納期が期首に集中したことなどの一時的な要因で増加。
- インドルピーやインドネシアルピアをはじめ為替相場がアジア通貨安で推移。

単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	前年同期比
設備投資	2,095	2,340	+ 11.7%
減価償却費	2,612	2,589	▲ 0.8%
研究開発費	2,675	2,506	▲ 6.3%

- 新電元インドアの生産能力増強に向けた設備投資等を実施し、前年同期比1割増に。

2026年3月期第2四半期貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期末	2026年3月期 上期末	増減比
流動資産	84,189	93,617	+11.2%
固定資産	52,307	53,391	+2.1%
資産合計	136,496	147,008	+7.7%
流動負債	30,920	32,979	+6.7%
固定負債	39,431	47,140	+19.5%
負債合計	70,352	80,119	+13.9%
株主資本	50,205	51,974	+3.5%
その他包括利益累計額	15,938	14,915	▲6.4%
純資産合計	66,144	66,889	+1.1%
総資産合計	136,496	147,008	+7.7%
自己資本比率	48.5%	45.5%	▲3.0pt.
有利子負債残高	40,281	50,871	+26.3%

- 年度資金調達が完了し、有利子負債・現預金が増加。
- 投資有価証券の時価評価替え等により固定資産増。

2026年3月期通期業績見通し

2026年3月期通期業績見通し

単位：百万円（百万円未満切捨）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 8/8修正予想	前期比
売上高	105,830	110,000	+ 3.9%
営業利益	128	3,300	+2464.8%
営業利益率	0.1%	3.0%	+2.9pt.
経常利益	▲523	3,300	—
当期純利益	▲2,436	3,100	—
単位：JPY/USD			
単体取引高レート	153.04	140.00	▲13.04円

- 市場環境は事業ごとに濃淡あるものの概ね想定した水準で推移。
- 上期に対して、費用増などを見込み、1Q決算時に修正した通期業績予想は据え置き。
- 京セラパワーデバイス事業取得の影響は精査中のため、織り込んでいない。2026年1月取得予定で推進中。

中期目標達成へ、
今年度計画を着実に遂行する

＜将来に関する記述についての注意事項＞

本資料に記載されている情報については、ご利用目的への適合性等に関して保証するものではなくそのご利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

なお、本資料の情報等に変更があった場合でも、当社は本資料を改定する義務を負いかねますのでご了承下さい。

END